

# リサイクルライフ

杏林大学半田ゼミナール A グループ  
貫井汐奈<sup>1)</sup>, 古屋沙織<sup>2)</sup>, 松下大輝<sup>1)</sup>

指導教員 半田英俊

1)杏林大学 総合政策学部 企業経営学科 半田英俊ゼミナール

2)杏林大学 総合政策学部 総合政策学科 半田英俊ゼミナール

キーワード：放置自転車・リサイクル・サイクルシェアリング・スマートフォン・スマホアプリ

## 本文

私たちは、八王子の放置自転車をリサイクルして、かつサイクルシェアリングに用いて放置自転車の削減をおこないたいと思います。更にスマートフォンのアプリを使い、同シェアリングを利用しやすい環境を整える対策案も考えました。

現在の我が国における重大な社会問題となっている放置自転車について解決しなければいけません。

現在、全国の駅周辺の放置自転車の数だけで、約 12 万台放置されており、その他の地域を含めると、それ以上の数放置されているのが現状です。更に、東京圏内では、約 5 万 3 千台も放置されています。

八王子市の平成 27 年の調査においては、駅周辺の放置自転車は 393 台のみで、首都圏内で一番放置自転車の多い北区では 1525 台でした。北区に比べて八王子市では約 4 分の 1 ですが、これは、駅周辺に限った調査なので、その他の地域の放置自転車の数を換算すると、もっと多くなると予想されます。

八王子は東京都内でも第 2 位の面積を有する自治体であり、山なども多いですので、自転車が山中に不法投棄がされる恐れがあります。よって、その八王子市に重点を置き、対策案を練り上げてきました。

内容は、八王子市で撤去した放置自転車の中で、引き取りに来なかった自転車を、すべてリサイクル業者に転売するのではなく、中には、まだ乗る

ことのできる、しっかりした自転車も存在します。

その自転車をサイクルシェアリング用に生まれ変わらせ、市民の皆様に活用していただき、地域の活性化、放置自転車の削減につなげたいと考えています。

また、利用方法は、自動精算機と、スマホアプリの 2 種類を導入し、老若男女に利用できるようにしたいと考えています。